

棄てられたコットン製品から、新たにコットンの服を作るプロジェクトの取り組み事例

- 自然から生まれ、自然に還る。天然繊維の循環システムを作り、環境にローインパクトな新しい仕組み。

ワイエスインターナショナル株式会社における事例

取組み概要

廃棄されたコットン製品から新たに服を作る“BORO（ボロ）”

- オーガニック/ 自然分解/ リサイクル/ 日本製を主なコンセプトとして服づくりをしている tennen。その中でも大きな取り組みは、“BORO（ボロ）”と名付けられた棄てられたコットン製品から新たにコットンの服を作ることである。
- 衣服の回収業者さんから廃棄されたコットン製品を買い取り、綿に戻し、そこに強度を保つために半量の新しいオーガニックコットンをブレンドして糸・生地・製品を作る。



効果

- 必要な新しいコットンは通常の半量なので、Co2の排出をはるかに抑えられ、Tシャツ1枚あたりにかかる水も削減でき、またこの動きが広がれば、コットン栽培に使用する化学肥料や農薬も減らすことが可能なので、環境に対するインパクトを抑えられ、さらには、綿花栽培で働く方々の健康的被害も低減させ、様々な側面から幸せな環境を生むことにつながると考えている。

企業名



ワイエスインターナショナル株式会社

設立年

2012年

売上高

非公開

企業概要

- サステナブルなフットウェア、アパレル、服飾雑貨等の輸出入、デザイン生産、卸販売および小売を行う企業
- 主な取り扱いブランド
- ✓ テンネン（自社アパレルブランド）
- ✓ フェールラーベン（アウトドア製品）
- ✓ ハンワグ（トレッキングシューズ）